

令和4年度 第2回 町長タウンミーティング

日時：令和5年1月22日（日） 10：00～12：25

場所：伊奈町役場 第1会議室

参加者：13名

◎意見交換内容（主なものを集約）

①

○児童館の北側階段には、昔の児童館職員が手書きの壁画を描いていました。現在はシャッターで封鎖されていますが、素晴らしい絵なので、子ども達や町の皆さんに触れていただければ嬉しいと思います。

◆町長回答

●現在、児童館は指定管理者に委託をしております、町が直接運営をしているものではございませんが、絵については、担当課と指定管理者で話し合いをしていただき、想いを届けたいと思います。

②

○高齢化が進み、将来は徘徊するお年寄りが増えると思います。徘徊するお年寄りも安心して暮らせるまちづくりをしてほしいです。研修等に参加をして、そういった人達をフォローする人材を今のうちから確保してほしいです。

◆町長回答

●高齢者の方々への支援策である「お年寄り見守りたい」に、現在約800人の方に登録をいただいております。また、「伊奈町見守りオレンジネットワーク」は、事業者の方々に地域の見守りをさせていただくもので、現在約120箇所の事業所に登録いただいております。

そして昨年は、地域の拠り所として、南部地域包括支援センターを設立いたしました。また、健康長寿教室等、場所づくりも行政の役割であります。

独居世帯は現在約1,200世帯あり、しっかり見守りを行うことが大切だと考えておりますので、今後も連携を取れる体制づくりを進めてまいります。

③

○1月10日（火）朝日新聞にて、ふるさと納税で伊奈町が全国で9位、7,700万円の赤字という、非常に残念な記事がありました。これは職員と町民で話し合っ、なんとか改善しなくてはと思いました。

また、成人した若い人達が伊奈町に残ってくれるような魅力あるまちづくりを、全体でアイデアを出しながら話し合っしてほしいです。

◆町長回答

●ふるさと納税についてはご指摘のとおりでございます。いくつか新しい案が集まっているので、今年はふるさと納税の返礼品の種類を増やしていきたいと考えております。また、アイデアをお寄せいただければ嬉しいと思います。

④

○町の計画で、下水道の完備について7割を完了させるとありますが、なぜ10割にできないのか疑問に感じました。ぜひ、100%の下水道化を進めていただきたいと思います。

◆町長回答

●丸山地区は、ほとんどが市街化調整区域になっており、公共下水がまだ入っていないところは面整備を行う必要があります。例えば、離れた所に一軒だけあるような場所は、工事料が莫大にかかってしまい、公共下水が進んでいないひとつの要因となっております。

町では合併浄化槽の補助金を出しておりますが、公共下水の進め方については検討しなくてはいけないと思います。

⑤

○丸山駅周辺について、40年前からあまり変化がなく、開発が進んで発展すると思っていました。他の方が言っていたように、下水道が入れば丸山地区も発展すると思います。

また、学生の利用が多いため、朝は生徒が道から溢れてしまってかなり危険です。

◆町長回答

●丸山地区は緑が豊かで、駅も近く住宅としても魅力的な場所ではありますが、ほとんどが市街化調整地区になっておりますので、町づくりは、長期的になりますが少しずつ進めていければと思います。

また、伊奈備前守忠次の屋敷跡がありますので、今後もPRを続け、観光資源として活かしていきたいと考えております。

⑥

○ニューシャトルについて、現在、駅の終日無人化構想というのがあります。背景には慢性的な人手不足と、コロナの影響による経営状態の悪化があります。この状況について、ご存じでしょうか。

○ニューシャトルの企業理念の中には「地域に根差した会社」とありますが、実際に地域の方からの信頼を得られているのかお聞かせください。

◆町長回答

●ニューシャトルの営業時間短縮や経営状態についてはよく伺っております。現在、企業として乗り越えていくための経営戦略をしていることと思います。また、ニューシャトルは、町経済あるいは町全体にとって大きな影響があり、ニューシャトルとともに伊奈町は発展してきたので、今後も連携を強めていきたいと考えております。

⑦

○庁舎を新しくすることについては賛成ですが、人口は今後、大きく増えないと思うので、新庁舎の面積等についてはそれを踏まえて検討してほしいです。
○市街化区域の中で、生産緑地に指定されている所は補助金が出ていると思いますが、30年経つと補助が切れてしまいます。そうすると地主の方々が苦しくなり、緑地が減ってしまうのではないかと危惧しています。

◆町長回答

●新庁舎については原則、補助金がありません。また、資材高騰の影響で、当初の見積より金額が上がっておりますので、面積も含めて、どこまでコンパクトにできるのかということと、いかに費用をかけず有効な建物にするかということを現在検討させていただいております。

また、相続の関係で、市街化の農地を売却することが増えているようです。後継者問題もあり、農業をより効率的に行うために、所有している田んぼを1箇所に集約するよう進めているところです。また、アグリ推進課が中心となり、農業の見直しと地元農産物の応援等を行う農業応援隊を作っています。半農改革が大切になっていきますので、しっかりと推進してまいります。

⑧

○中部区画の16M道路（伊奈中央駅の脇の道）について、小貝戸と大針の境で止まっているため、東農免道に繋がられないでしょうか。そうすれば、交通量が多い道にも歩道が出来て安全面からも良いし、幹線道路になれば将来に経済的な発展も見込めると思います。

○中部公園について、禁止されているボール遊びをしている人が多く、フェンスが低くてボールが飛んでくるので、対策をしてもらえればと思います。

○高齢者は、歩く・書く・声を出すことで健康的になると考えています。そういった機会を提供していただければ嬉しいです。

◆町長回答

●都市計画決定しているのが、上尾の国道17号から、上尾市東部浄水場までむすんでいる道が、延伸する予定で、現在14Mの幅で計画中です。東農免道までについては、まだ都市計画決定しておりませんので、参考にさせていただきます。

また、中部公園については、ボールが通路や植え込み、公園外に飛び出す遊び方を禁止しており、ほかの利用者や、近隣住民の迷惑にならないようお願いしております。多くの方が気持ちよく利用できるよう、周知の徹底をしたいと思っております。

そして、歩くことや声を出すことは長生きの秘訣だと思います。伊奈町でも、いきいき長寿課で、65歳以上の方に「いきいきパスポート」をお渡ししています。そのパスポートを持っていれば、町内のお店でサービスを受けられます。歩くことにも繋がると思っておりますので、ぜひご利用ください。

⑨

○伊奈町に、高齢者が一緒に暮らしながら、それぞれ仕事を持ち、畑をやりながら自給自足をして、最後まで生き抜けるような施設を作りたいと考えています。新しく起業をする若者向けの補助金等があればと思います。

○ニューシャトルの高架下は、草が生い茂っている空き地が多く、町で有効活用してほしいと思います。空き家もたくさんあるので、若者が起業できる場所を作ってもらえれば、町も発展して、誰でも住みやすいまちになるのではと思います。

◆町長回答

●国や県にも施設によって補助制度があります。そういった施設をつくるのはとても良いと思いますので、町でも検討したいと思っております。

また、若者に夢を持ってもらいたいという意味で、中学生の英語検定の受検料の一部を補助しております。それ以外に、アメリカの小学生と、伊奈町の小学生で、クリスマスカードと年賀状を交換も行っております。

⑩

○町民運動会について、公民館等の空いている施設で、準備運動として体操教室のようなものを開き、日頃から顔を合わせながら運動をして、町民運動会に参加する、といったステップがあればいいと思います。

○バリアフリーボックスは、年齢や運動歴、障がいの有無に関わらず、誰でも一緒に行うことができるので、伊奈町で積極的に発信してもらえると嬉しいです。

○今後の健康事業について、町長に何かお考えがあればお聞きかせください。

◆町長回答

●各地区の公民館で「健康長寿教室」の開催を提案しております。コロナ禍でなかなか開催できなかつたのですが、今後は、感染対策をしながらできるように、担当の健康増進課と話をしております。

また、町民運動会については、年齢的な問題で、地区対抗の種目を減らしてほしいという意見をいただいています。日頃から身体を動かすことは良いことだと思いますので、十分考えた上で、提案をさせていただきます。

⑪

○私は韓国人です。皆さんの意見を聞いていて、高齢者の問題が多いと感じました。年齢に関わらず楽しくいきいきとられる町にすれば、全国から人が集まって、経済効果や発展に繋がると思います。私も地域のことを手伝える機会があればとてもいいなと思いました。

◆町長回答

●ありがとうございます。国際交流事業で「インターナショナルフェスタ in 伊奈」というものをやりたいと考えております。そこで各国の料理等を販売するといったような交流ができればと思っております。国際交流を進めるため、4月からコミュニティ推進課を作り、イベント等を考えていきますので、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。

⑫

○農薬が身体に及ぼす影響について危惧しており、特に、子どもは大人より体内に残る残留農薬が多いです。身体を作る上で食事はとても重要なので、一部分でもいいので、有機栽培の野菜を学校給食に取り入れていただきたいと思います。日本人の身体には、やはり日本人がもともと食べていたものが合っています。腸内環境を整えるためにも、そういった食事にも目を向けていただければと思います。

◆町長回答

●伊奈町の学校給食の米は、農薬は極めて少ないものであると伺っております。町内でそういった米が作れば、給食の米を全て伊奈町産にしたいと考えております。パンと野菜は町内の事業所から納めていただいておりますが、その野菜全てが有機栽培かどうかについては、勉強させていただきます。

伊奈町の小・中学校には約4,000人の生徒が通っており、今年の3学期は給食費を無料にしております。有機栽培の野菜を使って、安心して子ども達に食べてもらうことが大切なので、担当課と相談しながら進めたいと思っております。

⑬

○伊奈町のまちづくりに必要なものとして、災害につよいまちづくりがあります。手入れされていない樹木が多く、台風がくると危険なので、対策をするべきだと思います。

そして、ニューシャトルを活かすこと等によって、もっと独自のまちづくりができるのではと思います。

また、雑木林ばかりで草木が生い茂っている場所が多いため、居心地のいい、管理された緑の公園を創設してほしいと思います。

他にも、空き家や管理されていない空き地を作らないプログラムの策定等をお願いしたいです。

◆町長回答

●伊奈町はまちづくりにおいて、独自性を活かせるまちであると思っています。ニューシャトルの駅が5つあり、交通の便が良く、県の施設もたくさんあるため、日本一住んでみたいまちにできる要素がたくさんあります。

「きらきら光る元気なまち」「日本一住んでみたいまち」を目指して、いただいた意見を参考にさせていただきます。